

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2011.6.30

No. 26

来客への挨拶を心がけよう 就職求人明日から開始

いよいよ明日から今年度の求人活動が開始されます。今年の求人も厳しさが予想されていますが、少しでも求人が増加することを祈るばかりです。

昨年本校へ求人にお見えになったある企業の方が、「廊下ですれ違って挨拶してくれる生徒が少ない」「廊下のゴミ入れがあふれている」等厳しいご指摘をいただきました。今年は是非そのようなことがないように以下の点に特に注意して欲しいものです。

「来客への挨拶を心がける」
「進路室前の廊下では静かにする」
「廊下等へゴミを散らかさない」



外部の人の目は厳しく、そのまま皆さんの就職試験に影響してきます。直接自分とは関係ないように思えても、また別の人のやった行為でも本校全体に影響して来ることを是非肝に銘じてください。



向上心を持つ

最近の若者は欲がないとよく言われます。ある程度のところまで行くと、それ以上上を目指そうとしないというのです。例えば中国の若者達の旺盛な向上心と比較して日本の若者にそうした面が見られないともよく言われますが、これからの日本の先行きが心配になります。

企業がある製品を作ったときに、それで完成と考え次の開発を怠れば、たちまちその製品は他社にとって換えられてしまいます。常に少しでもよいものを目指し改良し続けてこそ、よりよいものが生まれますし、企業も生き残っていきます。

モーツァルトは幼少時から作曲をし、天才と言われてきました。しかし、その評価に甘んじることなく、彼はあくなき向上心を持ち、新しい作曲にチャレンジし続けました。その多くの作品が彼の天才という名を不動のものとしています。

いつも現状に満足しているとそれ以上の進歩がなくなってしまいます。また新しいものが生まれられません。少しでも向上心を持ちチャレンジし続けることは個人にとっても生きるバネになりますし、生き甲斐にもつながります。組織の中で出世を目指すとか、より多くの収入を目指すとか、運動選手がより高い大会を目指す等その向上心のよってたつところは人それぞれでしょうが、人間が向上心を失えばそこで進歩は止まってしまいます。

すべてを超越した無欲の美德という世界もありますが、私たちが生きていく上で向上心を持ち続けることは大切なことです。皆さんも、安易なところで妥協したり現状にあきらめたりするのではなく、向上心を持ち続けて欲しいものです。

